

工業触媒の基礎と

【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

スケールアップ技術および触媒劣化対策

- ◆日時：2024年04月25日(木) 10:30～16:30
【アーカイブ配信：4/26～5/9(何度でも受講可能)】
 - ◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
 - ◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
 - ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
 - ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 早稲田大学 理工学術院総合研究所 客員上級研究員(研究院客員教授) 博士(工学) 常木 英昭 氏

【講座趣旨・プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

触媒技術は物質生産の要であり、高活性・高選択性触媒の開発とそれを用いたプロセス技術開発は新しい材料生産における省エネルギー・省資源・コスト削減に不可欠です。また環境規制や温室効果ガス排出削減が厳しくなっていく中、排ガス処理触媒の高性能化/CCU・再生可能エネルギー利用関連技術も求められています。これらに向けて触媒化学の基礎的事項と具体的な応用例について解説します。

1. 触媒化学の基礎

- 1-1 触媒(プロセス)開発の流れ
- 1-2 触媒の種類と特徴
- 1-3 触媒の活性成分・ミクロ/マクロ構造と機能
- 1-4 触媒活性試験とその解析手法
- 1-5 触媒評価方法(細孔構造・酸塩基性・酸化還元特性・活性点環境)
- 1-6 触媒有効係数

2. 触媒の実用化(触媒(プロセス)のスケールアップ/触媒劣化と対策)

- 2-1 実用触媒の調製法

2-2 実用触媒の成形法

2-3 触媒プロセスのスケールアップ手順

2-4 触媒プロセス開発の具体例

2-5 触媒劣化とその原因解析

2-6 触媒劣化対策と寿命延長

3. 触媒技術の今後の展開・トピックス

3-1 CO₂削減

3-2 水素製造

3-3 触媒材料の他分野への展開(膜分離・吸着剤など)

3-4 新しい反応場/触媒構造

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『工業触媒』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送